

1.決算ハイライト	P.2
2.トピックス	P.13
3.経営方針と取り組み	P.15
4.参考資料	P.30

1. 決算ハイライト

BELLUNA

1. 決算総括
2. 決算概況
3. セグメント別損益
4. 売上の増減分析
5. 営業利益の増減分析
6. 貸借対照表
7. キャッシュフロー計算書
8. 今期予算について

売上高・営業利益はほぼ予算通り 経常利益と当期純利益は為替の影響により マイナスとなった

- 売上高は予算通り着地
- 営業利益も特殊要因※を除くとほぼ予算通り
- 一方で経常利益と当期純利益は為替関係損益が大幅なマイナスとなった為に損失を計上

※特殊要因

- ・新たに取得した(株)マイムの季節要因 ▲3.2億円
- ・総合通販事業での媒体の前倒し発行 ▲3.9億円

1-2. 決算概況

BELLUNA

売上高 ～ 前年比7.3%の増収で予算オーバー

営業利益～ 前年比1.2%の増益だが特殊要因除くとほぼ予算通り

経常利益～ 円高を受けた為替予約の評価損※により、損失を計上

※15/11以後は新規の為替予約取引なし

単位：億円

連結	16/3期2Q累計	17/3期2Q累計			17/3期
	実績	実績	予算比	前年比	予算
売上高	621.6	666.8	1.0%	7.3%	1,400.0
売上原価	278.3	292.1	0.7%	5.0%	616.0
販売管理費	312.2	343.2	4.0%	9.9%	674.0
営業利益	31.1	31.5	-21.4%	1.2%	110.0
営業外損益	0.6	-39.5	-	-	0.0
(内、為替予約の評価損)	(-1.7)	(-42.6)	-	-	-
経常利益	31.7	-8.0	-	-	110.0
当期純利益	18.6	-8.3	-	-	70.0

1-3. セグメント別損益

売上高 ～ プロパティ事業を除きすべて増収

営業利益～ ソリューション他4事業が増益。店舗販売等3事業が減益

- ・ソリューションと看護師向け通販（専門通販）が好調。媒体発行の前倒しを除くと総合通販も順調
- ・店舗販売は新たに取得した(株)マイムの季節要因で、プロパティは不動産販売収益がないなどで減益

セグメント別売上高と営業利益

単位：億円

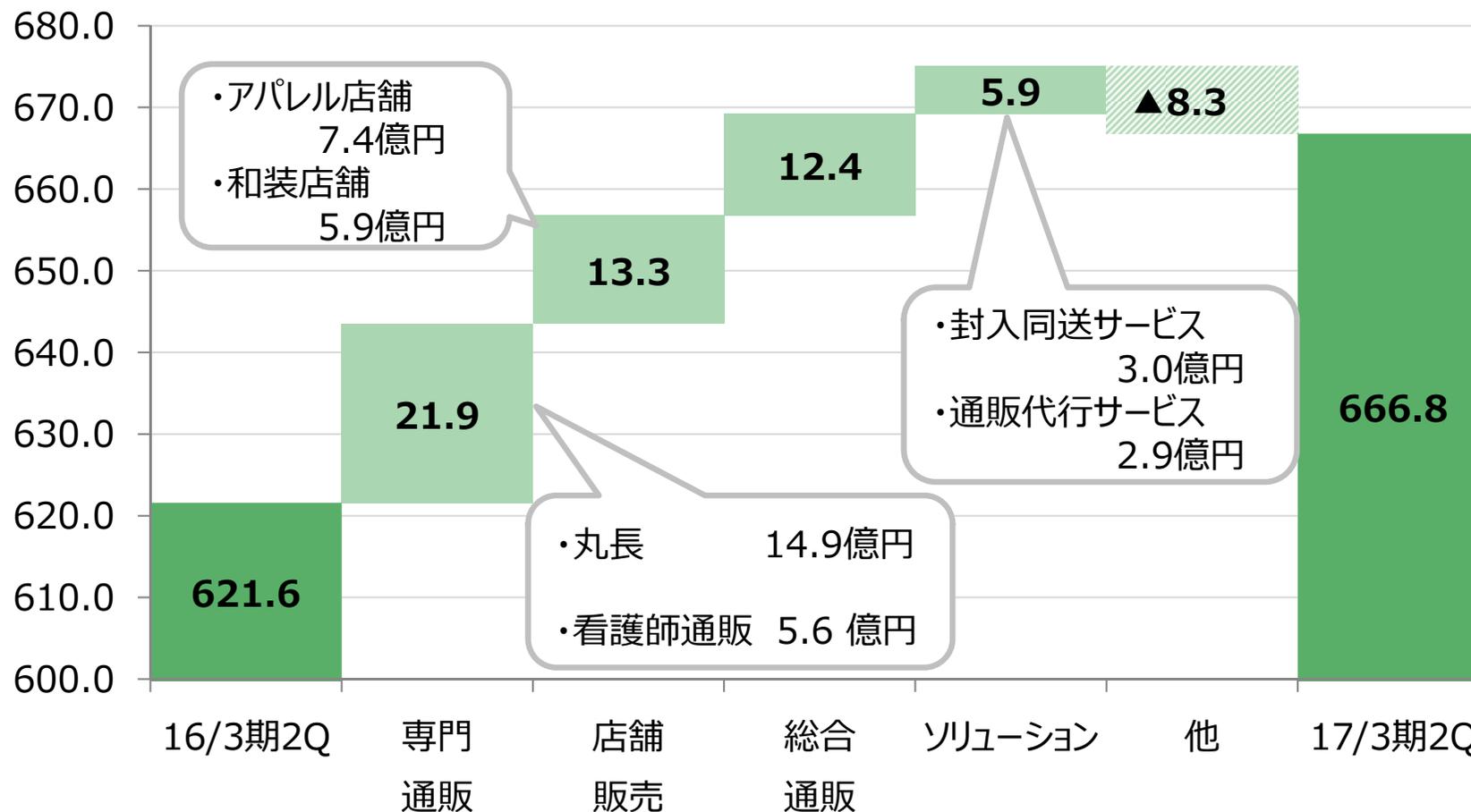
	17/3期2Q累計								
	総合 通販	専門 通販	店舗 販売	ソリューション	ファイナンス	プロパティ	その他	連結 消去	計
売上高	341.4	187.7	62.5	27.6	15.1	18.2	17.7	-3.4	666.8
前年比(%)	+3.8%	+13.2%	+27.0%	+27.0%	+7.3%	-39.3%	+17.5%	+5.8%	+7.3%
予算比(%)	-0.8%	-0.9%	-0.4%	+13.6%	+1.1%	-2.5%	+1.6%	-71.0%	+1.0%
営業利益	10.4	7.6	-2.2	13.0	5.4	0.2	-1.4	-1.6	31.5
前年比(億円)	1.6	3.3	-3.4	4.4	1.0	-5.2	-0.7	-0.6	0.4
予算比(億円)	-1.2	-0.2	-4.8	1.4	0.4	-3.8	-0.5	0.1	-8.5

1-4. 売上の増減分析

専門通販事業や店舗販売事業に加え、総合通販事業も増収を牽引。またソリューション事業も好調に推移

売上高の増減要因

単位：億円

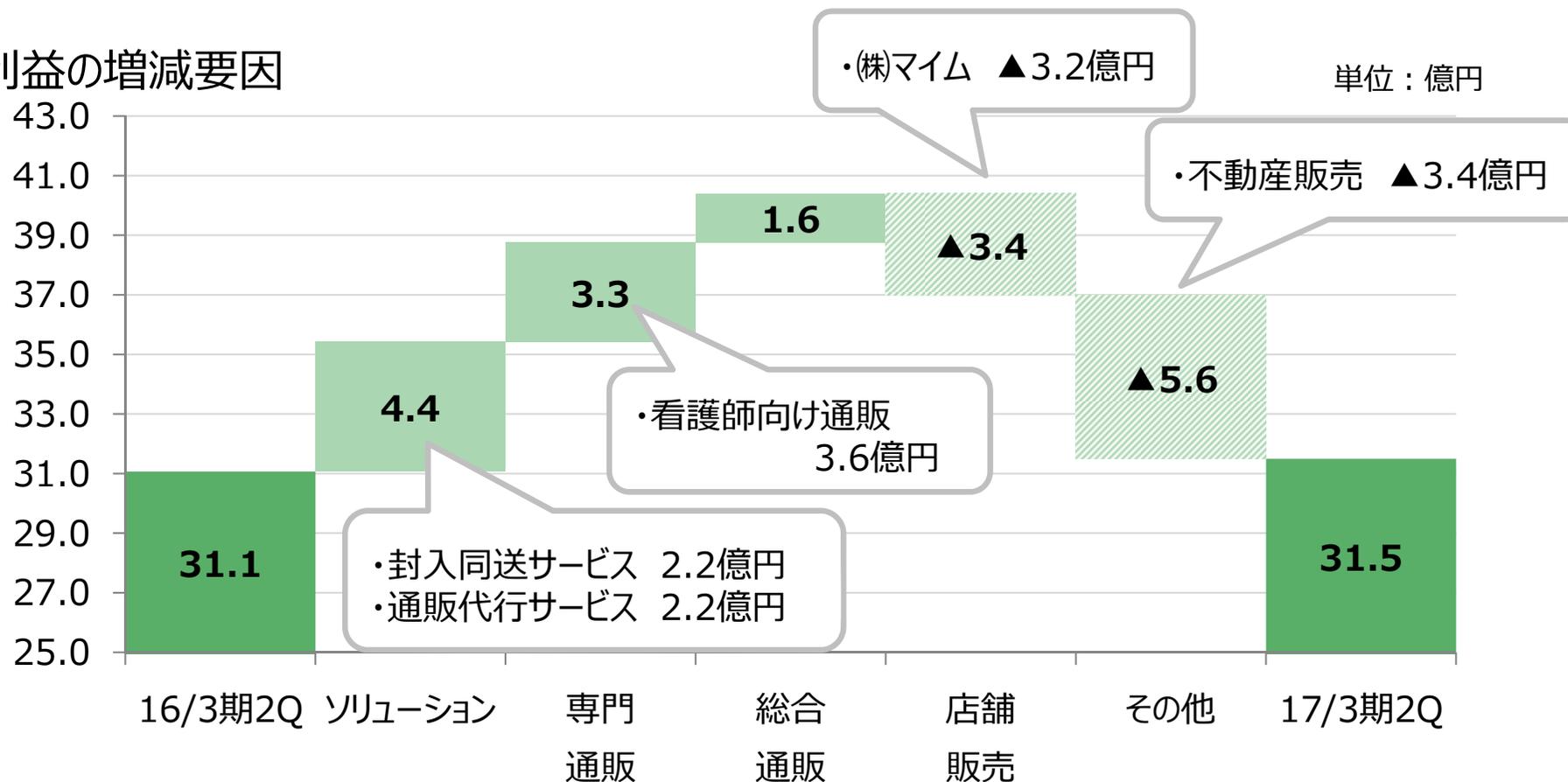


1-5. 営業利益の増減分析

封入同送サービスの増収効果と通販代行サービスの収益改善によりソリューション事業が、また看護師向け通販の好調に支えられて専門通販事業が増益

一方で店舗販売事業は(株)マイムの季節要因で、プロパティ事業は不動産販売がなかったことなどで減益

営業利益の増減要因



1-6. 貸借対照表

BELLUNA

資産では商品や販売用不動産に加えて有形固定資産などが増加

これに対し負債では有利子負債などが増加

	16/3末	16/9末	増減額
流動資産	741.9	804.0	62.1
商品	156.1	183.6	27.5
(仕掛)販売用不動産	41.7	86.2	44.5
固定資産	868.7	924.8	56.1
有形固定資産	594.6	639.6	45.0
その他投資	19.5	39.4	19.9
総資産	1,610.6	1,728.8	119.5
負債	804.1	950.8	146.7
支払手形及び買掛金	156.3	179.1	22.8
有利子負債	464.7	555.2	90.5
純資産	806.5	778.0	-28.5
利益剰余金	684.5	670.1	-14.4
【自己資本比率】	[49.8%]	[44.7%]	[-5.1P]

単位：億円

1-7. キャッシュフロー計算書

BELLUNA

販売用不動産の増加で営業C Fが、有形固定資産取得などで投資C Fがマイナス。長短借入金が増加し、全体としてキャッシュは30.3億円減少した

単位：億円

	16/3期2Q 累計	17/3期2Q累計		
		実績	前年比	
営業活動によるキャッシュフロー	37.3	-17.1	-54.4	
税金等調整前当期純利益	30.6	-10.0	-40.6	
デリバティブ評価損益	1.7	42.6	40.9	
販売用不動産の増減	6.7	-41.5	-48.2	
投資活動によるキャッシュフロー	-50.9	-82.0	-31.1	
有形固定資産取得による支出	-18.7	-57.2	-38.5	
差入保証金に係る支出	-2.1	-21.4	-19.3	設備投資*1
財務活動によるキャッシュフロー	33.8	73.8	40.0	60.7億円
長短借入金の増減	42.2	83.5	41.2	減価償却費*2
キャッシュに係る換算差額	-1.0	-5.0	-4.0	12.9億円
キャッシュ増加額	19.2	-30.3	-49.4	

*1: 設備投資額には、ソフトウェアなどの無形固定資産およびリース資産への投資額も含む *2: 減価償却費には、無形固定資産関連の償却や長期前払費用も含む

1-8. 今期予算について

売上高と営業利益はほぼ予算通り進捗

為替関係以外の営業外収益が約10億円あり、17/3月末のドル円相場が108～109円程度であれば経常利益も達成できる見込み

単位：億円

連結	15/3期		16/3期		17/3期	
	予算	実績	予算	実績	予算	前年比
売上高	1,280.0	1,206.9	1,300.0	1,317.4	1,400.0	+6.3%
営業利益	84.0	63.8	85.0	83.7	110.0	+31.5%
経常利益	100.0	100.5	102.0	71.1	110.0	+54.8%
当期純利益	70.0	63.9	67.5	35.4	70.0	+97.5%
有利子負債	230～270	396.7	450～500	464.7	430～480	-7.5%～+3.3%
純資産	790.0	795.1	850.0	806.5	865.0	+7.3%
ROE	9.2%	8.4%	8.0%	4.4%	8.1%	3.7P

1-8. 今期予算について

BELLUNA

総合通販事業に加えて専門通販とソリューション事業が
増収増益を牽引。第4Qには(株)マイムの収益寄与と
不動産販売を見込んでいる

セグメント別の予算

単位：億円

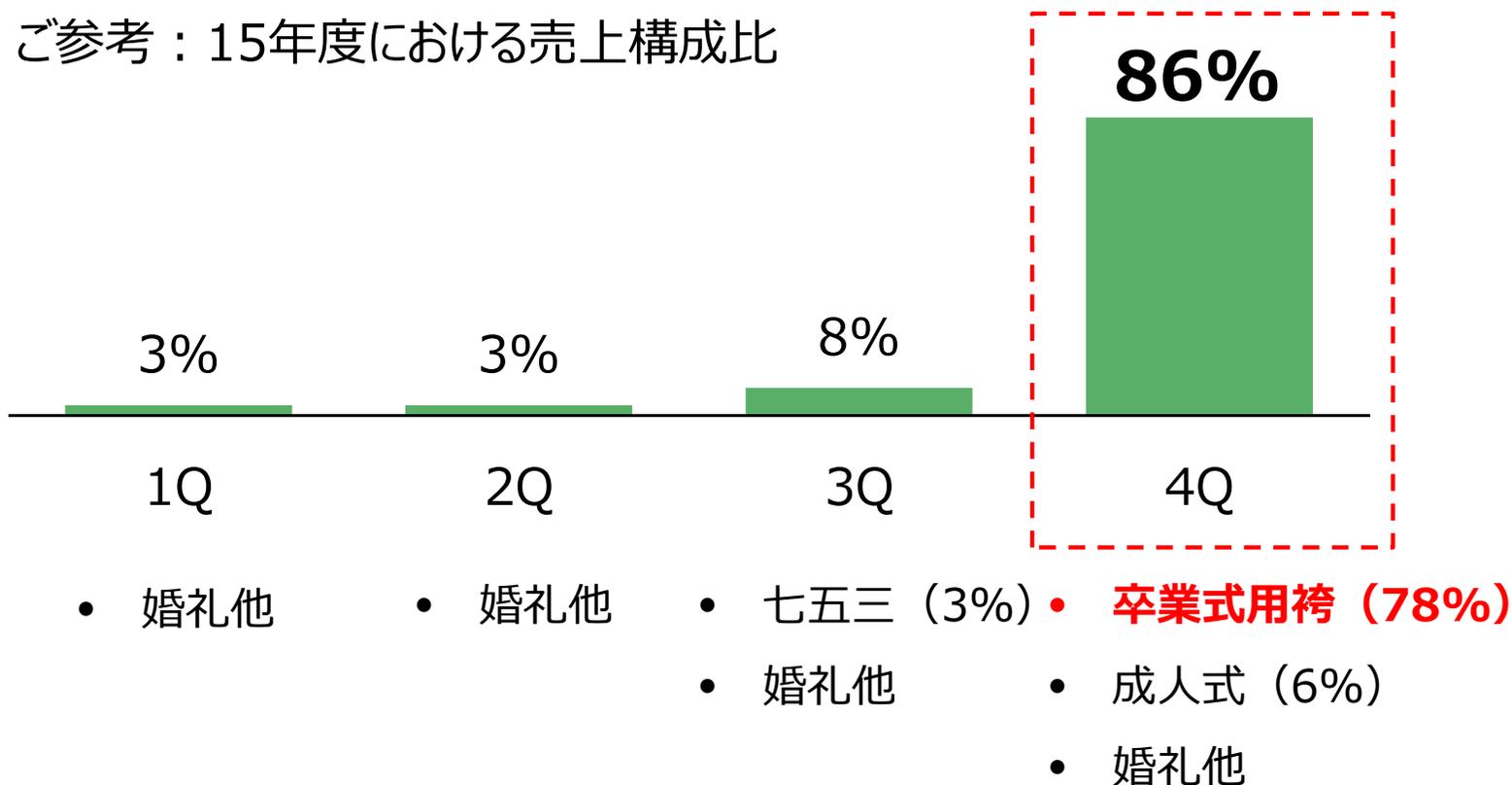
	17/3期 予算								計
	総合 通販	専門 通販	店舗 販売	ソリューション	ファイナンス	プロパティ	その他	連結 消去	
売上高	736.0	404.0	127.7	50.0	31.0	53.8	36.9	-39.4	1,400.0
前年比 (%)	+5.2%	+9.7%	+23.9%	+9.2%	+8.6%	+21.7%	+11.7%	+645.2%	+6.3%
営業利益	37.5	26.3	4.8	22.0	11.5	10.7	-1.0	-1.8	110.0
前年比(億円)	3.7	11.3	2.8	2.1	1.9	4.2	0.3	0.1	26.3

1-8. 今期予算について

(株)マイムの季節要因について

売上が4Qに集中。1～3Qは赤字が先行
通期では1億円を超える営業利益を見込む

ご参考：15年度における売上構成比



2. トピックス

BELLUNA

1. (株)ミン・(株)RIN・(有)ジュランの取得

2-1. (株)ミン・(株)RIN・(有)ジュランの取得

7月21日付でアパレル通販(ネット専業)を展開する (株)ミン、(株)Rin、(有)ジュランの全株式を取得し、子会社化

会社名	：株式会社ミン 株式会社Rin 有限会社ジュラン
所在地	：愛知県刈谷市
設立日	：2003年7月
主な事業	：アパレル通販
取得日	：2016年7月
資本金	：11百万円（3社計）
実績	：2015年度 売上高 10.6億円 営業利益 0.5億円

- 目的
商品開発ノウハウの共有や顧客基盤の相互活用を通じて総合通販事業の成長力をさらに促進する
- 特長
6Lサイズまでの「大きいサイズ専門店」として複数のオリジナルブランドを保有している。



3. 経営方針と取り組み

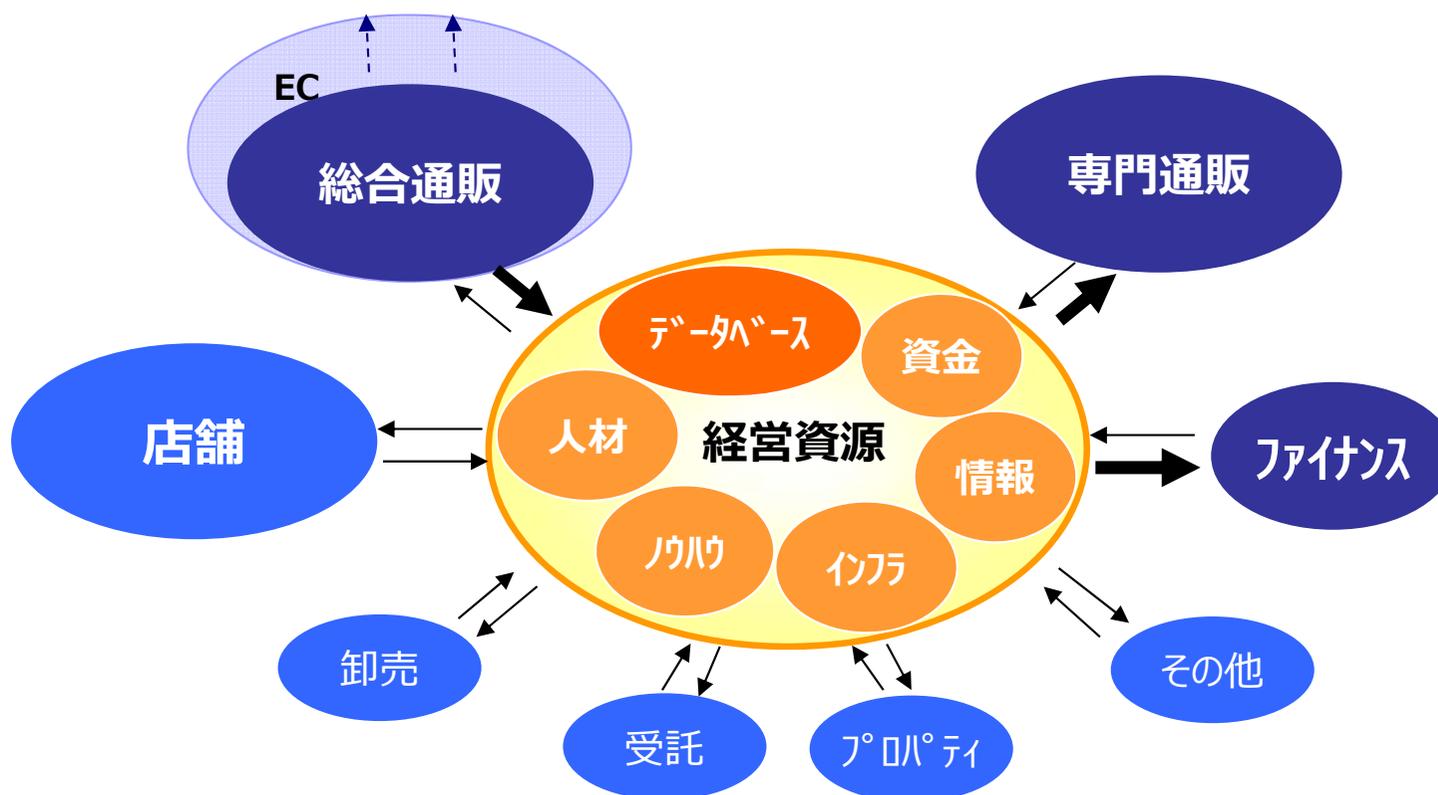
BELLUNA

1. 総合通販事業
2. 専門通販事業
3. 店舗販売事業
4. プロパティ事業
5. 株主還元

3. 経営方針 ～ビジネスモデル

ポートフォリオ経営⇒「通信販売総合商社」を指向する

- ①データベースの活用
- ②データベースの活用に関連するビジネス



第三次経営計画

(2017年3月期～2019年3月期)

最終年度 目標

- 売上高 **1,600億円** (年平均成長率6.9%)
- 営業利益 **160億円** (年平均成長率20.6%)
- ROE **8%以上確保**

主力4事業の拡大

1. **総合通販事業**の安定的な成長
2. **専門通販事業**の拡大
3. **店舗販売事業**の新規出店による拡大
4. ポートフォリオの成熟に向けた**プロパティ事業**の強化



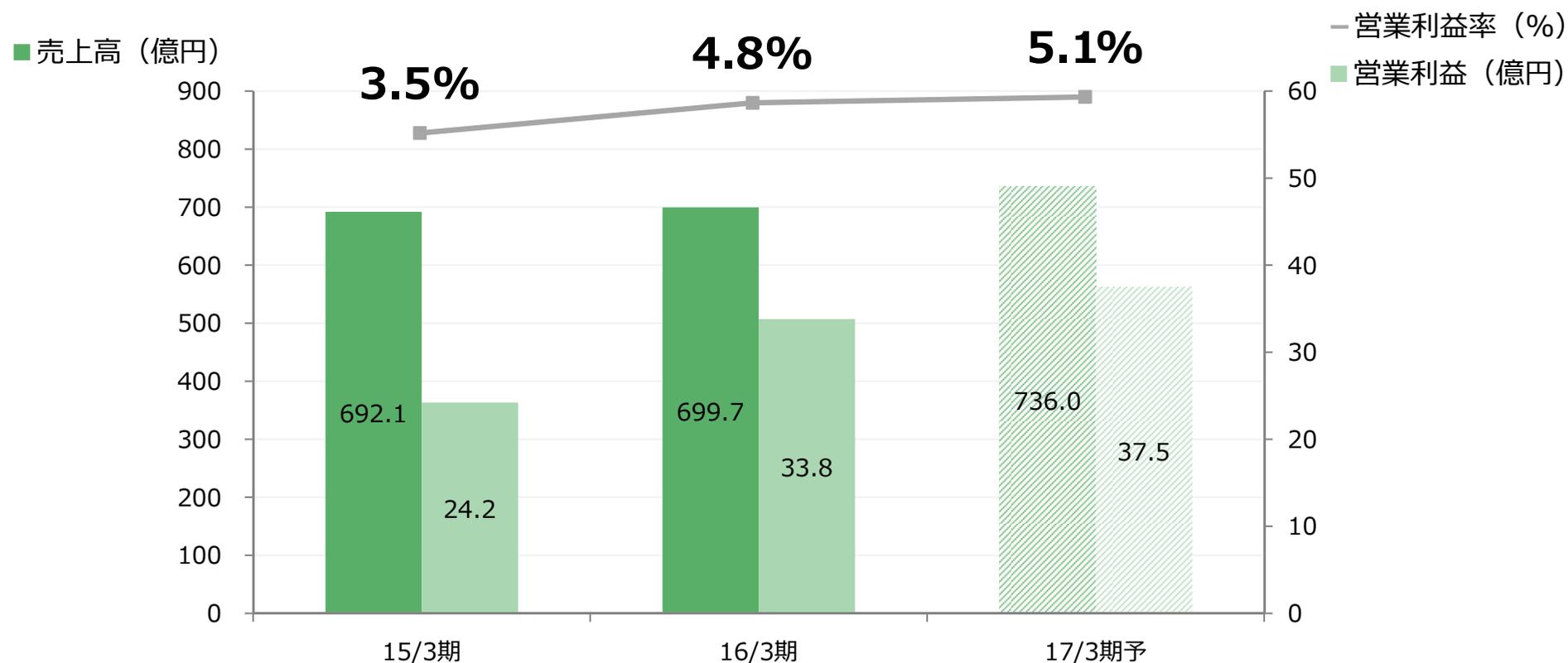
3-1. 総合通販事業

(1) 総合通販事業の状況

収益体質を強化しながら成長の実現に取り組んでいる

1. ネットの強化

2. カタログ、ネット、店舗のシナジー効果



(2) 総合通販事業の成長性

ネットの強化

CVRの改善 (受注転換率)

- サイトの改善
- 集客の効率改善
- ネット専用商品の投入



集客強化

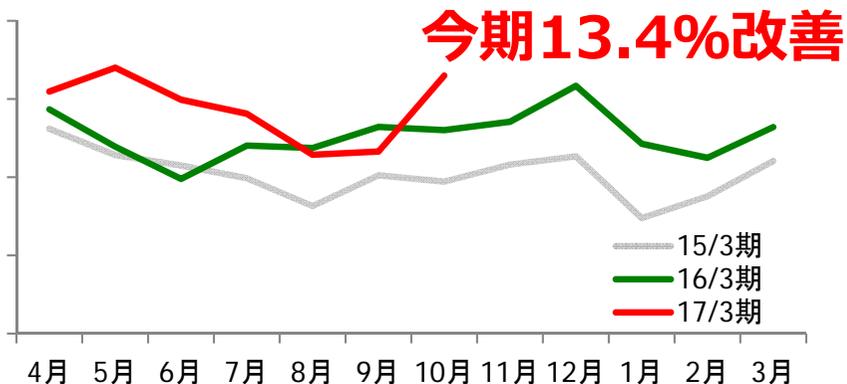
- ネットセール開始
- CM連動
- クーポン機能実装

ネット売上の増加

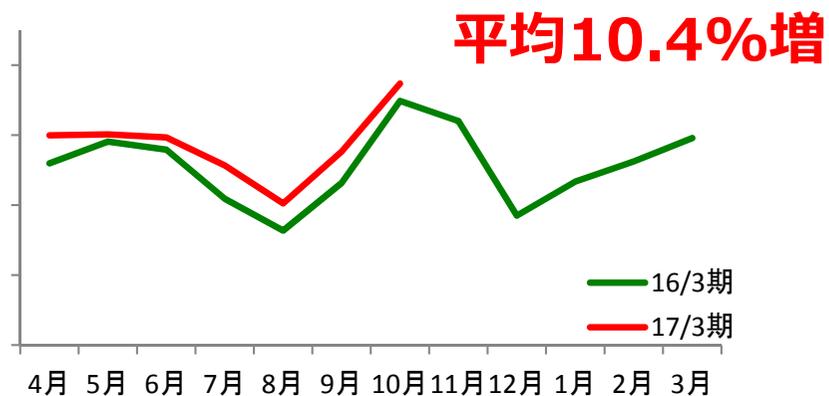
3-1. 総合通販事業

(2) 総合通販事業の成長性

CVR（受注転換率）の推移

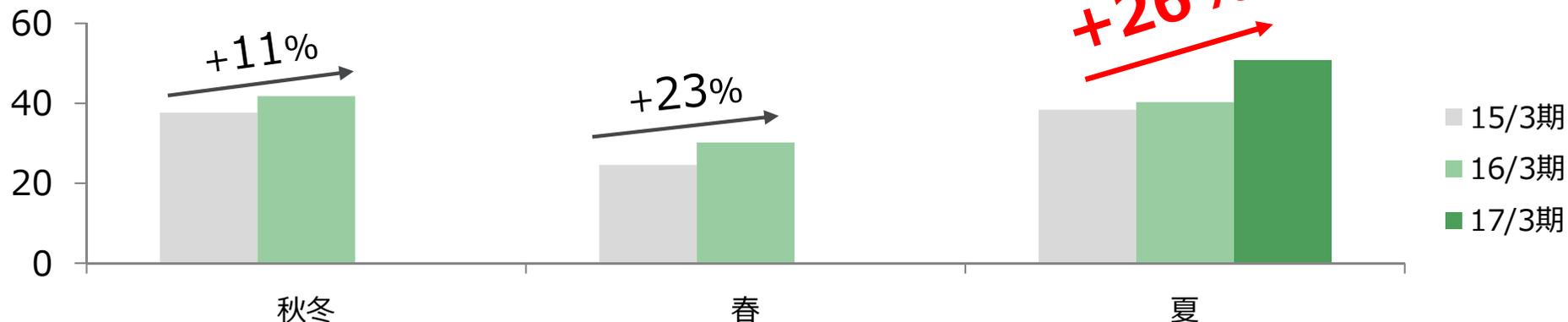


サイト流入数の推移



ネット売上の増加

シーズン別の受注推移（ネット完結受注）

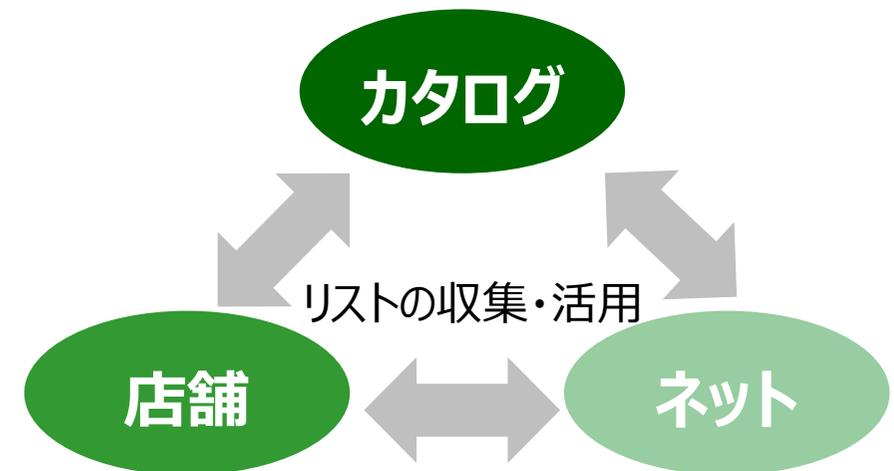


(2) 総合通販事業の成長性

カタログ、ネット、店舗のシナジー効果

1. 相乗効果により相互（カタログ、ネット、店舗）に効率改善

- (1) 通販のレスポンス向上
- (2) ネットのCVR向上
- (3) 店舗の増収効果



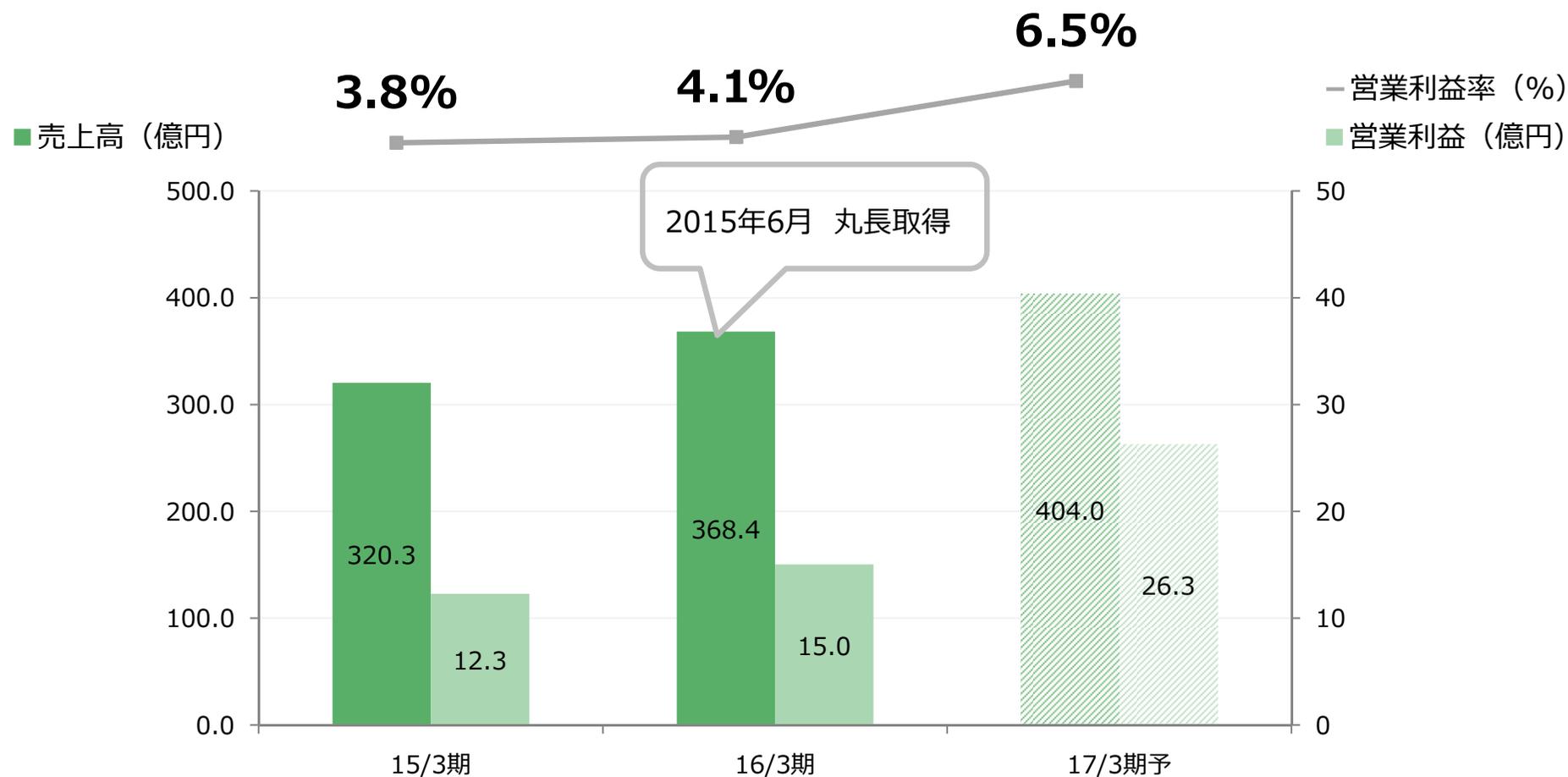
2. 効果のあるテレビの活用ができる

- (1) 売上が大きくなり（カタログ、ネット、店舗）負担を分散できる

3-2. 専門通販事業

看護師向け通販事業を軸に、増収増益基調に

他事業も新商品開発など事業内容の充実を図り収益力を強化



3-2. 専門通販事業：看護師向け通販事業

BELLUNA

ベルーナグループはマーケットシェアの大半を占有

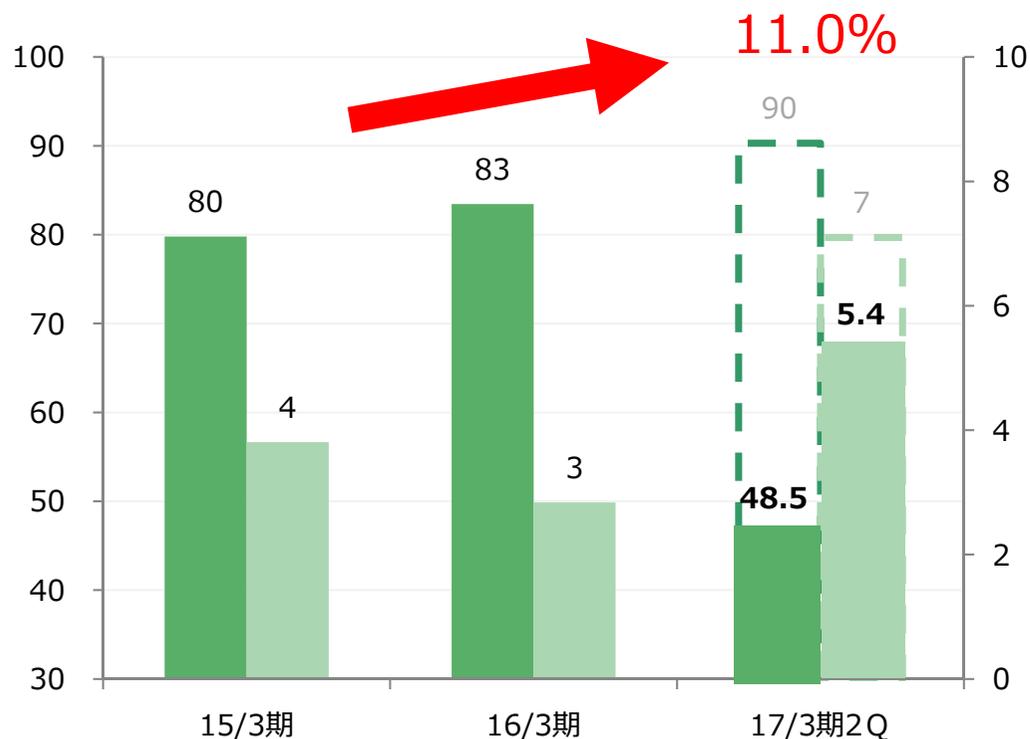
今後もこの優位性を活かして、成長性と収益性を確保



《看護師向け通販売上高・営業利益》

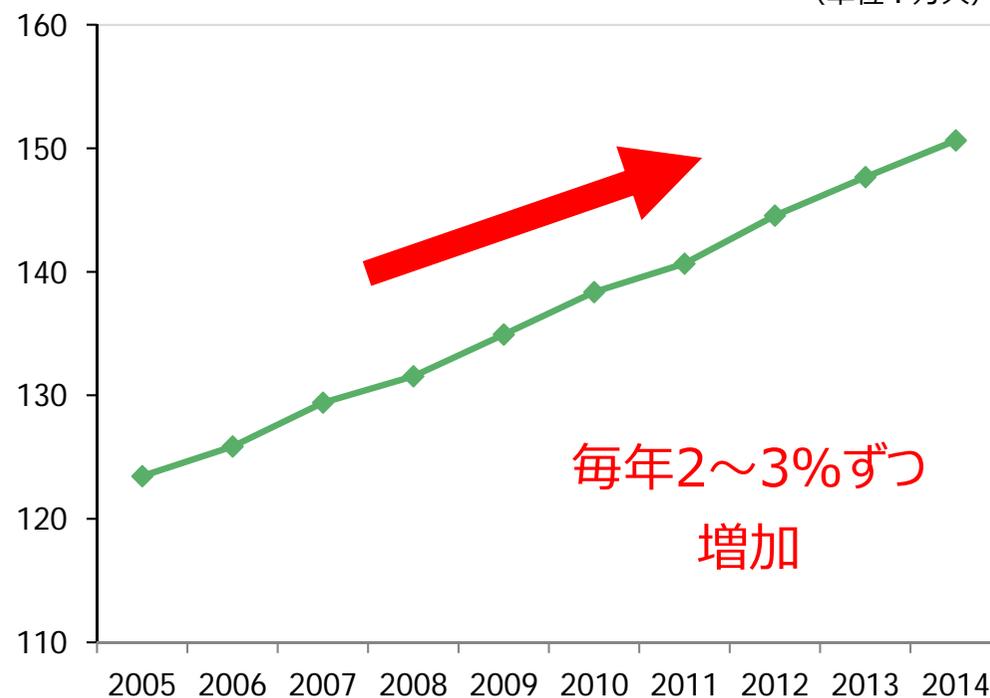
■ 売上高 (億円) ■ 営業利益 (億円)

営業利益率



《看護師・准看護師就業者数の推移》

(単位：万人)

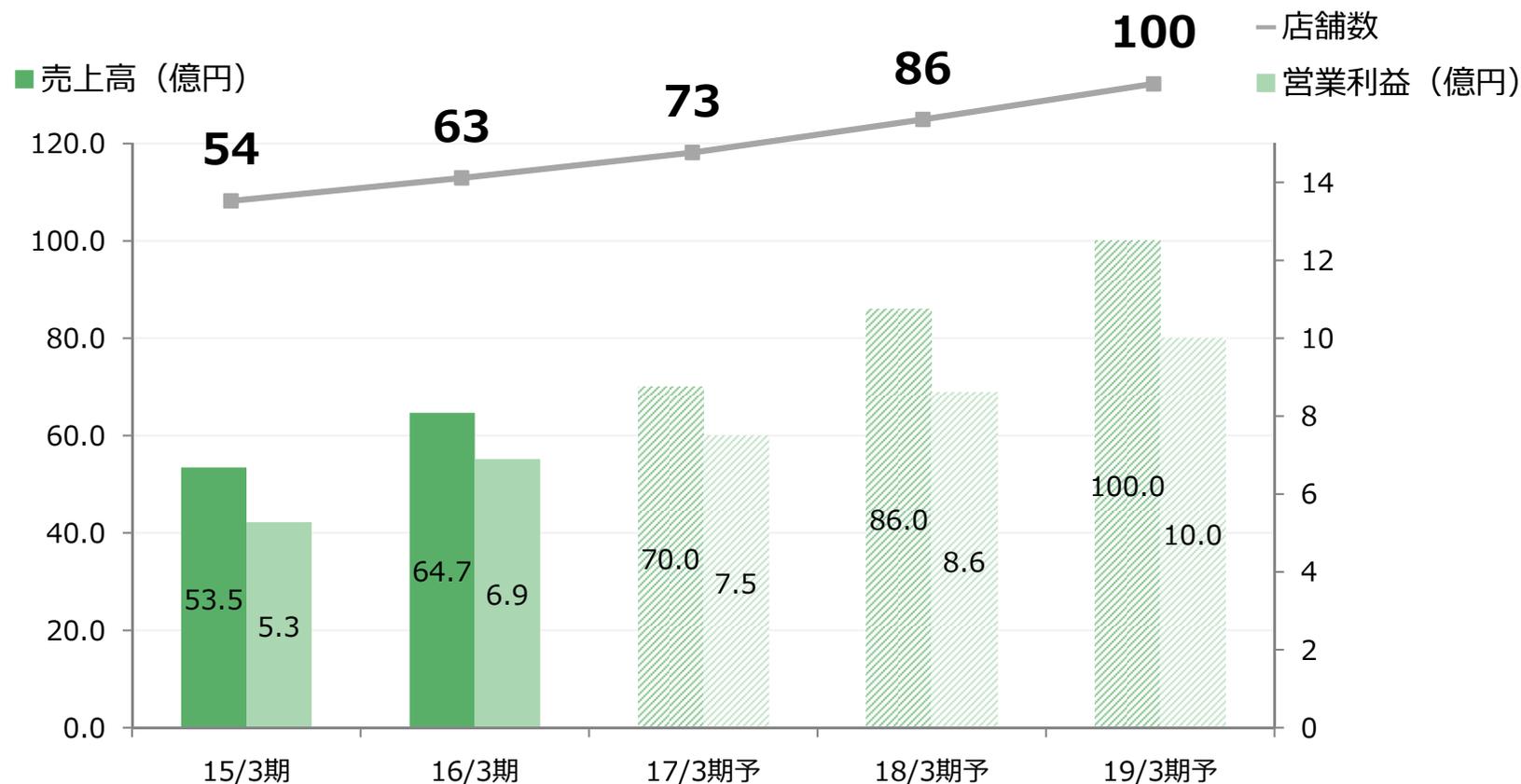


3-3. 店舗販売事業：和装店舗

BELLUNA

和装店舗は、店舗数が順調に拡大し、増収増益を達成
(16/9末までに既に68店舗)

計画前倒しで、100店舗・売上高100億円を目指す

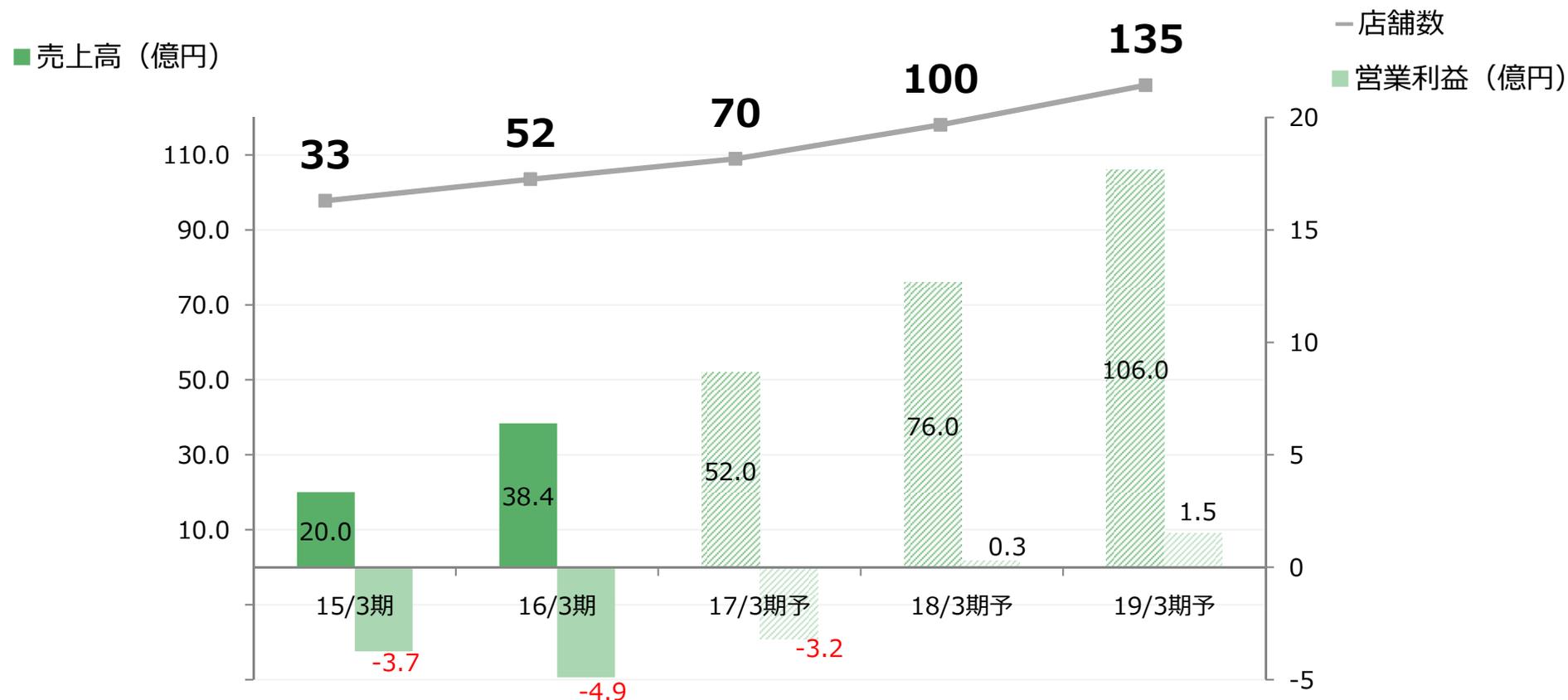


3-3. 店舗販売事業：アパレル店舗

アパレル店舗の出店数は16/9末まで 62店舗
来年度黒字化を目指して商品力や販売力を強化する



店舗数と売上高の計画



3-4. プロパティ事業

賃貸事業で安定的な賃貸収入を得ながら
開発事業とホテル事業で増収を実現

[今年度稼働物件]

賃貸事業 ～ グランベル恵比寿西（16/6月）・中目黒T Yビル（16/7月）

ホテル事業～ ルグラン軽井沢（16/7月）



グランベル恵比寿西（2016年6月オープン）



ルグラン軽井沢（2016年7月オープン）

3-5. 株主還元

安定配当＋株主優待の実施

<年間配当>

	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期予
EPS (円)	72.12	65.77	36.45	71.99
配当 (円)	12.5	12.5	12.5	12.5

<株主優待>

[内容]

	100株以上	500株以上	1,000株以上
総合通販事業の優待券	1,000円分	3,000円分	5,000円分
裏磐梯レイクリゾート割引券	1枚	2枚	4枚

[対象]

3月末・9月末時点で、当社株式100株以上を保有している株主様（年2回）



今年度が第三次経営計画の初年度。今年度予算をまずクリアして第三次経営計画の前倒し達成に向けて弾みをつけたい

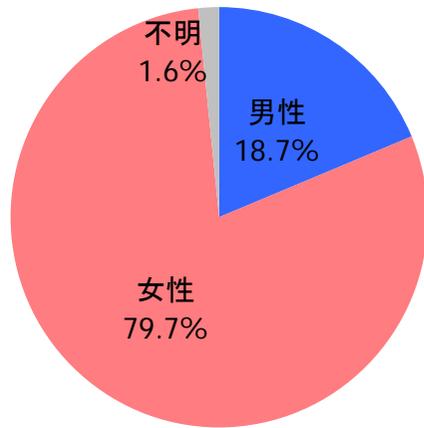
4. 参考資料

BELLUNA

【総合通販】登録会員の特徴

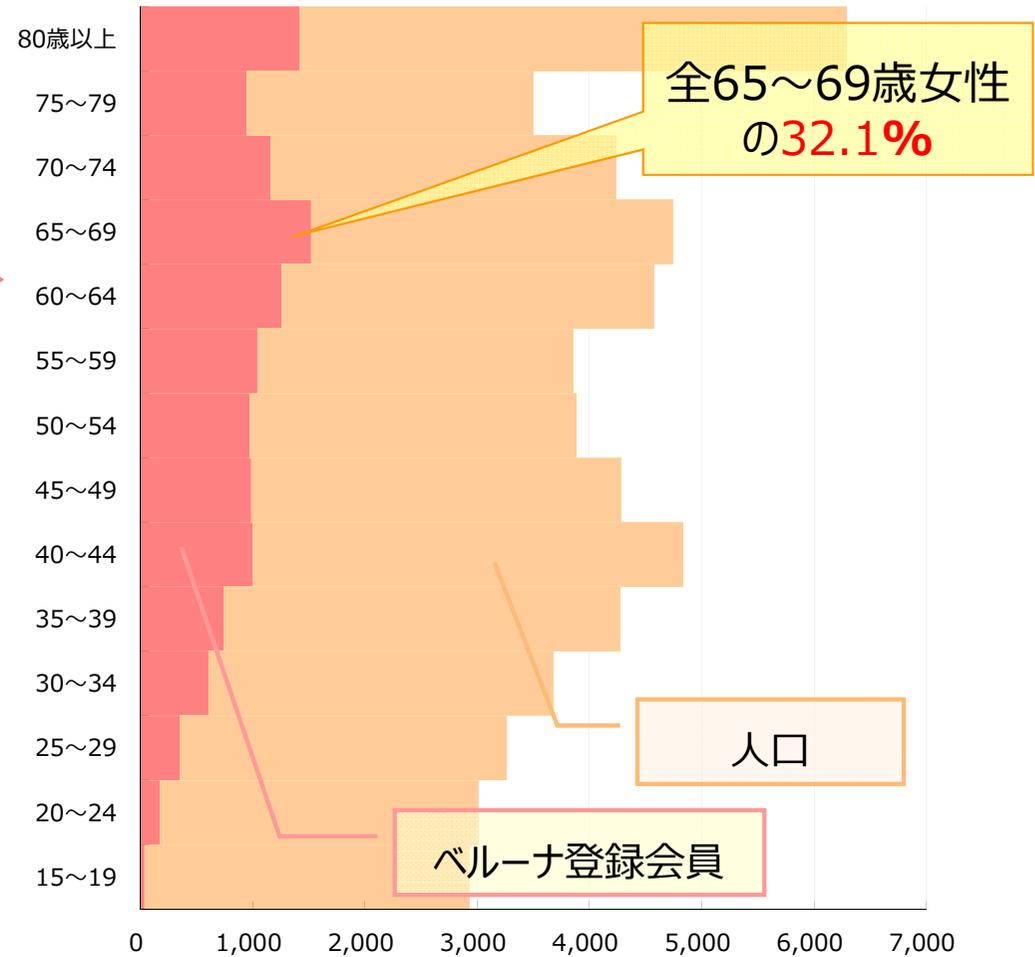
登録会員の特徴（2016年3月末時点）

<性別>

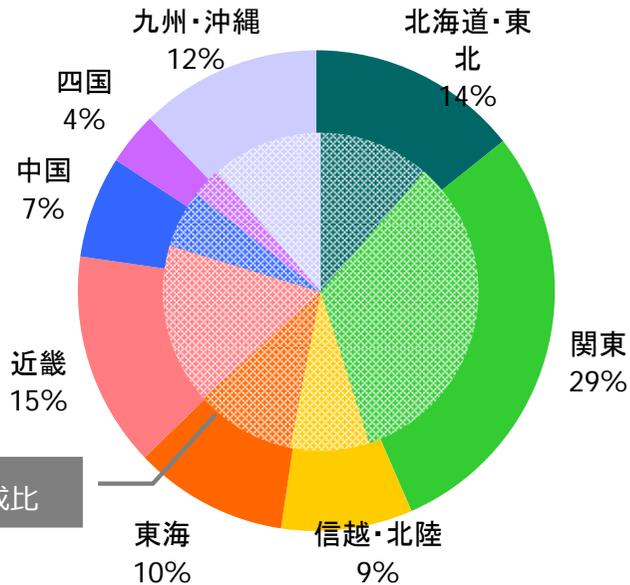


<人口ピラミッドとの比較（女性のみ）>

単位：千人



<地域>



地域別の人口構成比

※総務省統計局データを元にベルーナにて作成

第三次経営計画（セグメント別）

BELLUNA

単位：億円

		第二次経営計画			第三次経営計画		
		2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
		実績	実績	実績	予算	計画	計画
売上高	総合通販	753.9	692.1	699.7	736.0	761.5	800.0
	専門通販	272.7	320.3	368.4	404.0	408.0	435.5
	店舗事業	61.2	73.5	103.1	127.7	156.0	178.0
	ファイナンス事業	38.8	26.2	28.5	31.0	33.0	35.0
	プロパティ事業	55.5	21.6	44.2	53.8	86.0	92.0
	ソリューション事業	46.4	47.1	45.8	50.0	53.5	56.0
	その他	30.1	30.9	33.0	36.9	45.0	48.5
	調整	-4.5	-4.9	-5.3	-39.4	-43.0	-45.0
	合計	1,254.1	1,206.9	1,317.4	1,400.0	1,500.0	1,600.0
営業利益	総合通販	15.8	24.2	33.8	37.5	40.0	48.0
	専門通販	15.4	12.3	15.0	26.3	31.5	36.0
	店舗事業	2.5	1.6	2.0	4.8	7.5	11.0
	ファイナンス事業	10.7	9.9	9.6	11.5	13.0	15.5
	プロパティ事業	16.6	4.8	6.5	10.7	24.5	30.0
	ソリューション事業	20.4	15.6	19.9	22.0	21.0	22.5
	その他	-2.4	-2.8	-1.3	-1.0	1.5	2.0
	調整	-1.1	-1.8	-1.9	-1.8	-4.0	-4.9
	合計	78.0	63.8	83.7	110.0	135.0	160.0

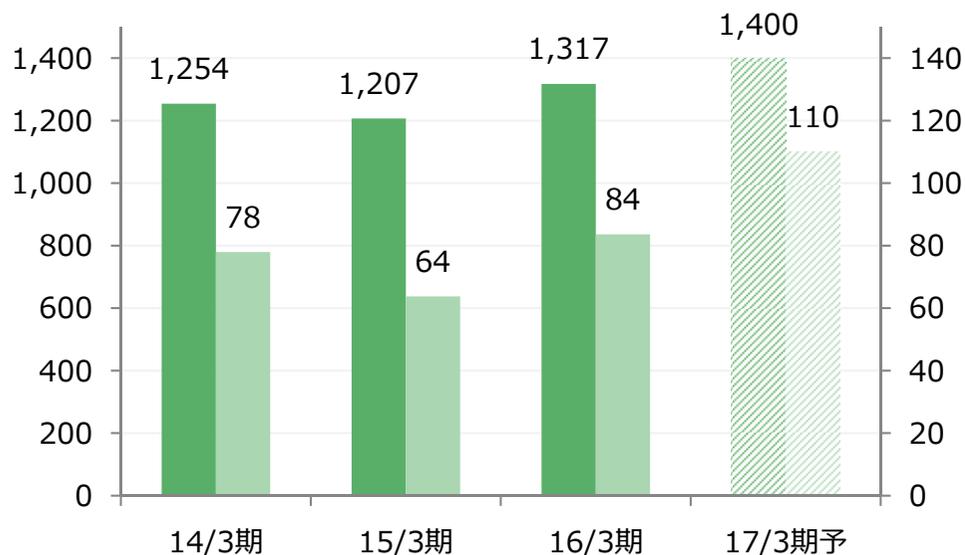
セグメント別

BELLUNA

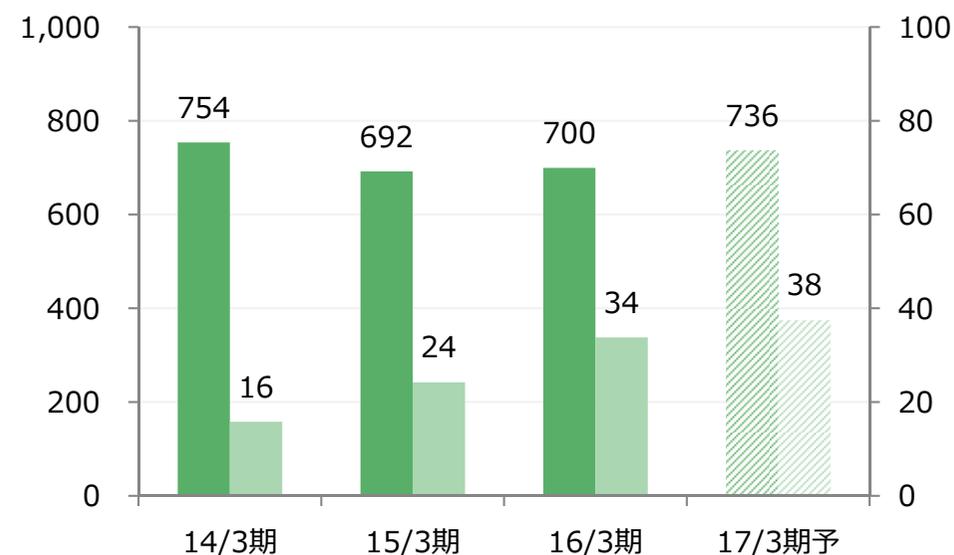
■ 売上高
■ 営業利益

単位：億円

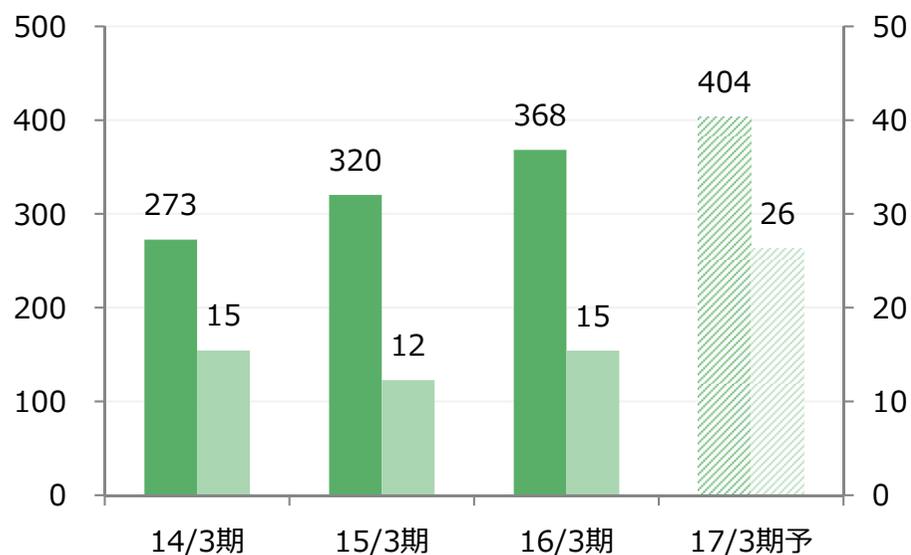
<連結合計>



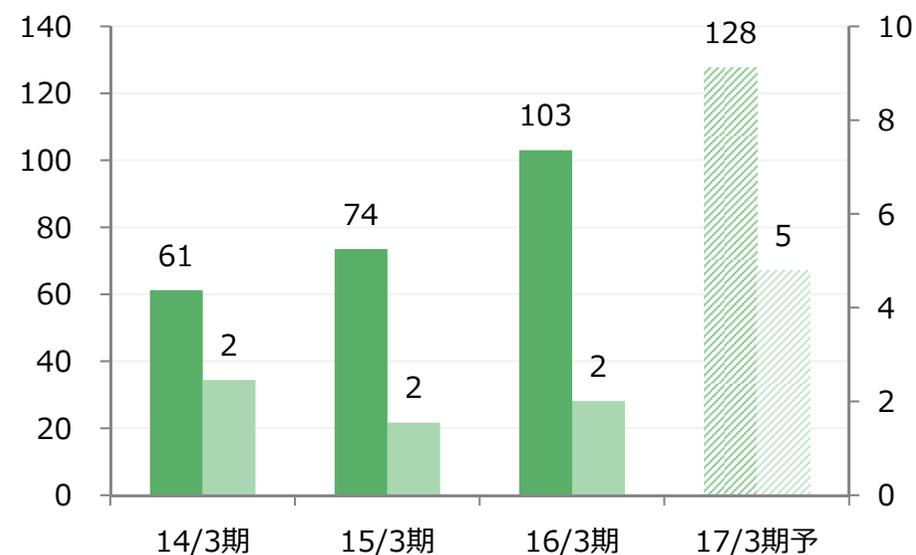
<総合通販事業>



<専門通販事業>

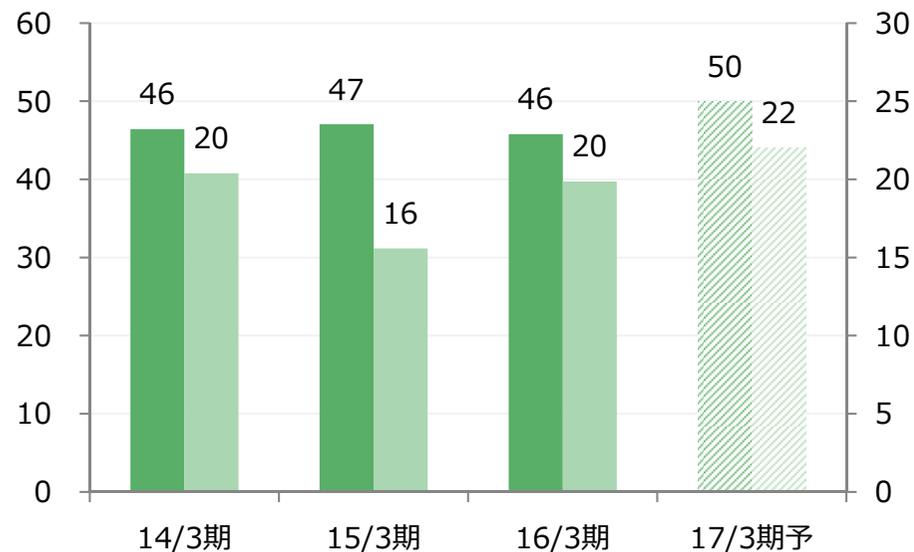


<店舗販売事業>

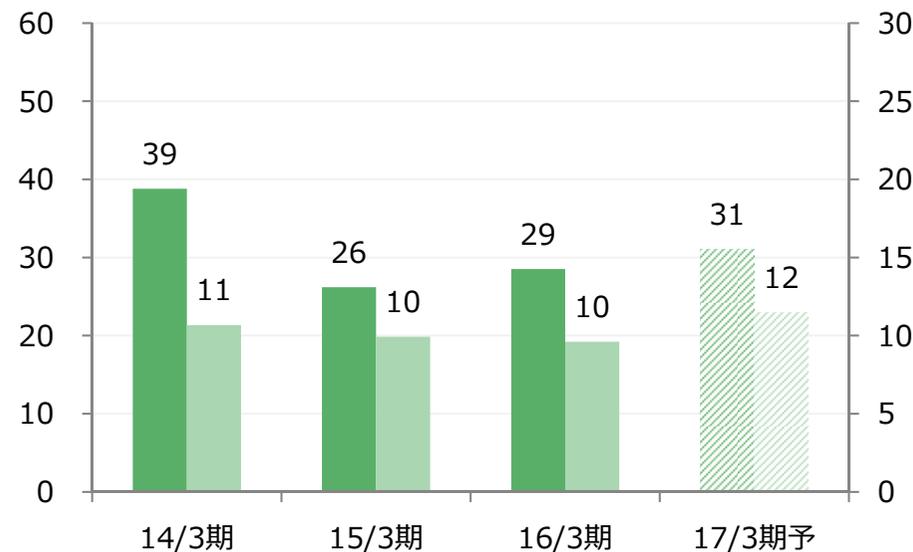


セグメント別

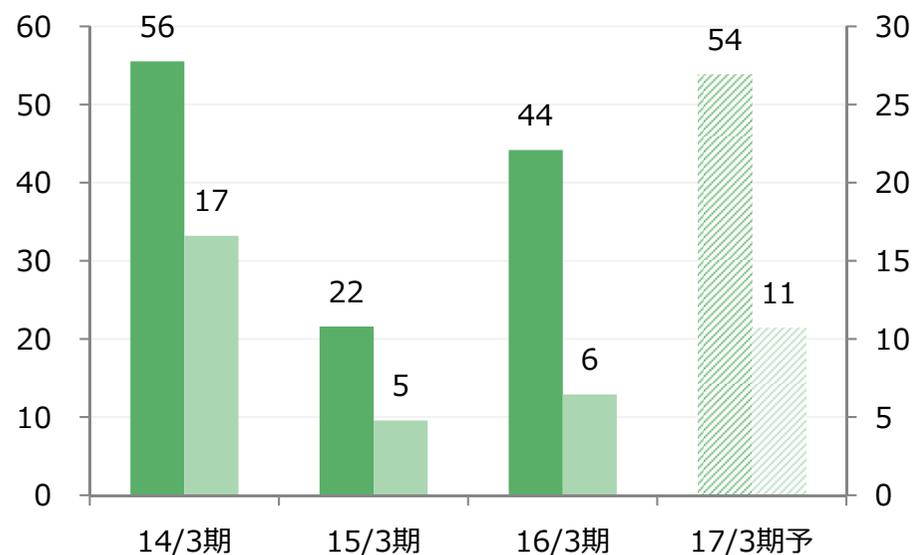
<ソリューション事業>



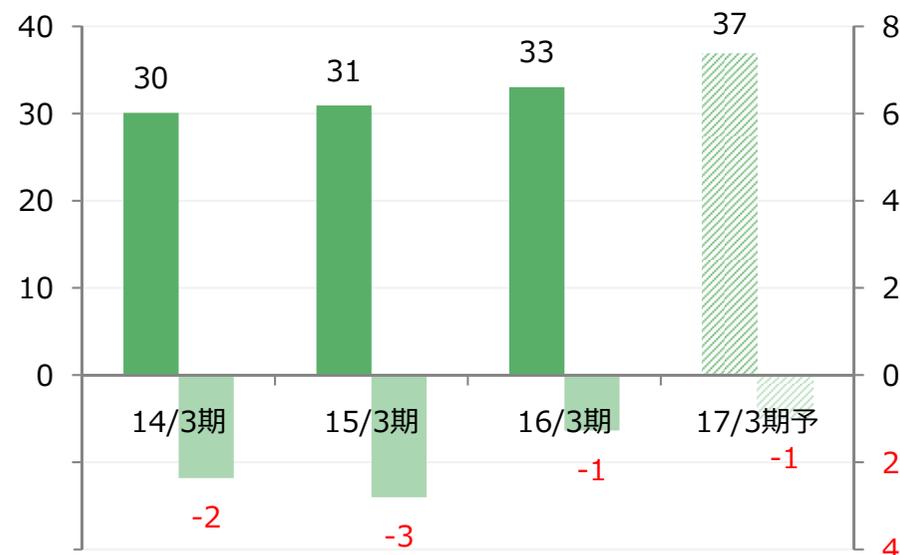
<ファイナンス事業>



<プロパティ事業>



<その他の事業>



<本資料に関する注意事項>

本資料は、2017年3月期決算業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2016年11月25日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

<IRに関するお問い合わせ先>

株式会社ベルーナ 経営企画室 IR担当 麻生

〒362-8688 埼玉県上尾市宮本町4-2

TEL : 048-771-7753

FAX : 048-775-6063

E-mail : ir-belluna@belluna.co.jp